

プレスリリース

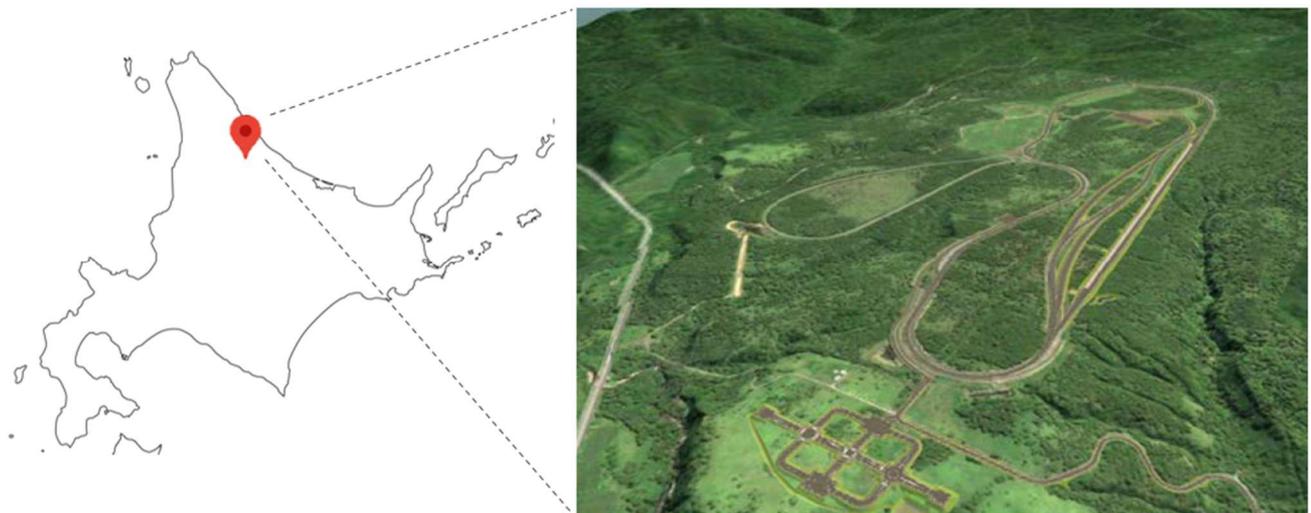
2024年8月28日
日鉄ソリューションズ株式会社

NSSOL、5G 技術による安心なモビリティ社会の実現目指し、 SUBARU 美深試験場にローカル 5G を導入 ～国内初となる完成車メーカーテストコースへのローカル 5G 導入～

日鉄ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：玉置 和彦、以下「NSSOL」）は、株式会社 SUBARU（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：大崎 篤、以下「SUBARU」）のスパル研究実験センター美深試験場にローカル 5G(4.8GHz 帯)を導入しました。

国内の完成車メーカーのテストコースとしては、国内初のローカル 5G の導入となります。

[SUBARU 美深試験場概要]



美深試験場は冬季雪上試験を目的とした開発拠点として 1995 年に開設。

総敷地面積 361 ヘクタールの中に、寒冷地走行試験のためのコースに加え、高速走行路やハンドリング路など有し、通年に渡り様々な試験を実施。

SUBARU 美深試験場では、自動車同士をサーバを介した 5G で接続することで、走行中の自動車同士の衝突を防ぐ協調型自動運転に関する試験を行うにあたり、高速走行時にも信頼性の高い通信を可能とすることに加え、周回コースの全周を無線でエリアカバーをするため、美深試験場へのローカル 5G による自営無線網の導入を決定しました。

ローカル 5G 製品の選定にあたっては、グローバルで No.1 の実績があり、国内のローカル 5G 制度上、最大出力となる 63W での電波照射が可能なノキア製品が採用され、高出力での電波照射により少ない基



NS Solutions

地局数で全長 4.2km の周回コースをカバーすることができました。また、導入 SIer にはノキア製品の多数の国内導入実績がある NSSOL が選定されました。

ローカル 5G 自営無線網の導入を通じて、走行試験中のカメラシステムの映像や車両の状態などの大容量データを低遅延で伝送すること、複数の基地局を高速でハンドオーバーすることなどの試験が可能となりました。運転技術への 5G 活用により、SUBARU が未来のモビリティ社会においても事故低減に貢献されることが期待できます。

NSSOL は、製造業をはじめとする幅広い業種・業界の企業のシステム構築、通信キャリア向けのネットワーク構築など様々な知見・ノウハウを活かし、他に先駆けてローカル 5G サービスを日本国内で提供しています。本件を通じて、自動車製造業をはじめとした様々な業界の DX 実現を目指していきます。

今後も NSSOL は、当社のパーパス「ともに未来を考え 社会の新たな可能性を テクノロジーと情熱で切り拓く」のもと、アプリケーション・基盤・通信を含めたトータル DX ソリューションを提供し、日本のインダストリー4.0 の実現に貢献していきます。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

日鉄ソリューションズ株式会社

産業ソリューション事業部 コネクテッドインダストリー推進センター

E-mail : ind-nsraven@jp.nssol.nipponsteel.com

【報道関係お問い合わせ先】

日鉄ソリューションズ株式会社

管理本部 サステナビリティ推進部 広報・IR 室

E-mail : press@jp.nssol.nipponsteel.com

- ・ NS Solutions、NSSOL、NS（ロゴ）は、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ 本文中の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です